

平成21年度全国学力・学習状況調査 高砂市調査結果（概要）

子ども一人一人に確かな学力を！

高砂市教育委員会

平成19年4月から実施された全国学力・学習状況調査も今年度で3回目となりました。今年度も平成21年4月に行われ、ここに高砂市の調査結果をまとめました。

高砂市教育委員会では、子ども一人一人に確かな学力を身につけさせるために、各校で学力向上の取組を重ねているところですが、この調査結果を踏まえ、今後も子ども一人一人の学力向上に取り組んでいきます。

なお、学校の序列化や過度の競争を招く恐れがありますので、数値公表は行いません。



調査の概要

	小学校（6年）	中学校（3年）
調査期日	平成21年4月21日（火）[宝殿中は4月28日実施]	
調査対象数	984人（10校）	932人（6校）
教科に関する調査 A：主に「知識」 B：主に「活用」	国語A・国語B 算数A・算数B	国語A・数学A 国語B・数学B
質問紙による調査	学習・生活状況に関する質問	学習・生活状況に関する質問

調査結果の概要



	小学校（6年）	中学校（3年）
教科に関する調査	○「国語A・国語B・算数A・算数B」の平均正答率は、全国平均正答率と概ね同程度 ▲考えを記述したり説明したり「活用」に課題	○「国語A・国語B・数学A・数学B」の平均正答率は、全国平均正答率と概ね同程度 ▲考えを記述したり説明したり「活用」に課題
学習・生活状況に関する調査	<p>○全国と概ね同程度か上回っていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「朝食を毎日食べている」、「家の人と学校での出来事について話している」「学校のきまりを守っている」、「人の役に立つ人間になりたい」「授業でノートを丁寧に書いている」など ・小学校での「家で学校の宿題をしている」、「学校のきまり（規則）を守っている」「読書が好き」など <p>▲全国より下回っていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家で学校の授業の復習をしている」 ・中学校での「家で自分で計画を立てて勉強している」、「家で学校の宿題をしている」「学校のきまり（規則）を守っている」、「読書が好き」など <p>☆基本的な生活習慣が身についている児童・生徒のほうが、正答率が高い ☆家庭学習の習慣が身についている児童・生徒のほうが、正答率が高い ☆規律正しい生活を心がけ、人への良好な関係を築くことを意識している児童・生徒のほうが、正答率が高い</p>	

小学校 国語

○概ねできていること

▲課題があること

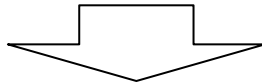


A 主として「知識」に関する問題

- 漢字の読み書き
- 文章の内容に合わせ小見出しを書く
- ▲ローマ字の読み書き
- ▲接続語を使って1つの文を2つの文に分けて書く
- ▲文学的文章の表現の工夫をとらえる

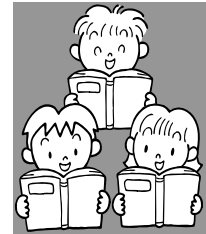
B 主として「活用」に関する問題

- 図をもとに必要な情報を取り出す
- ▲記述する課題で無解答が多い
- ▲必要な事柄を整理して書く
- ▲条件に合わせて書く
- ▲自分の意図をはっきりして記述する



☆次のポイントで、国語の指導を工夫改善していきます

- ・ことがらを整理して「話す」指導
- ・他人の話の内容を説明できる「聞く」指導
- ・目的や条件を考えて整理して表現する「書く」指導
- ・積極的な「音読」指導
- ・内容を的確に理解する「読む」指導
- ・ローマ字の読み書き指導
- ・文の構成の指導（1つの文を接続語で複数の文に分けるなど）



小学校 算数

○概ねできていること

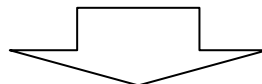
▲課題があること

A 主として「知識」に関する問題

- 四則計算
- 長さについての感覚
- ▲四則混合計算
- ▲数直線から数を読み取る
- ▲求める式を書く（四角形の内角・三角形の面積など）
- ▲百分率
- ▲資料を分類整理して表を用いて表すこと

B 主として「活用」に関する問題

- 図・グラフから数値を読み取ること
- ▲示された解法とは別の解法を答えること
- ▲条件に合うことがらを、筋道を立てて考えること
- ▲情報を整理選択し判断が正しい理由を記述すること
- ▲割合大小の理由を記述すること



☆次のポイントで、算数の指導を工夫改善していきます

- ・四則混合計算、百分率や割合の繰り返し指導
- ・一目盛りの大きさに着目して数を読み取らせる指導
- ・様々な資料から必要な情報を分類して整理させる指導
- ・ことがら（三角形の面積の求め方や図形に関する考え方など）を、筋道を立てて考えさせて説明させる指導
- ・新しい解法を見つけ出して説明させる指導



中学校 国語

- 概ねできていること
- ▲課題があること



A 主として「知識」に関する問題

- 漢字の読み書き
- 話の内容から適切な質問を選択すること
- ▲主語にあう述語を適切に書くこと
- ▲短歌の意味をつかむこと
- ▲語句を文脈の中で適切に使うこと
- ▲歴史的仮名遣いの理解

B 主として「活用」に関する問題

- 語句の効果的な使い方に気付いてあてはまる一行を抜き出すこと
- ▲資料の中の工夫を自分の表現に役立てること
- ▲文章から必要な情報を読み取り簡潔にまとめて書くこと
- ▲詩の表現から内容をとらえること

☆次のポイントで、国語の指導を工夫改善していきます

- ・話の内容から必要な情報を聞き取る指導
- ・自分の考えを的確に話す指導
- ・読み取った内容を簡潔にまとめて書く指導
- ・資料に表れている工夫を自分の表現に活用する指導
- ・「音読」を取り入れた「読む」指導
- ・「短歌」に関する指導（慣れ親しむ、意味を理解するなど）
- ・「詩」に関する指導（親しむ、内容を的確にとらえるなど）
- ・語句を積極的に調べて語句の理解を深める指導（国語辞典等の活用）
- ・「歴史的仮名遣い」の理解を定着させる指導



中学校 数学

- 概ねできていること
- ▲課題があること

A 主として「知識」に関する問題

- 比の意味の理解
- 正・負の数の計算
- 単項式どうしの乗法の計算
- 空間図形の展開図から面の位置関係をとらえること
- ▲一元一次方程式を立てる着目点
- ▲平行四辺形が点対称である理解
- ▲証明の意義についての理解
- ▲反比例の関係を表すこと
- ▲二元一次方程式の解の集合の理解

B 主として「活用」に関する問題

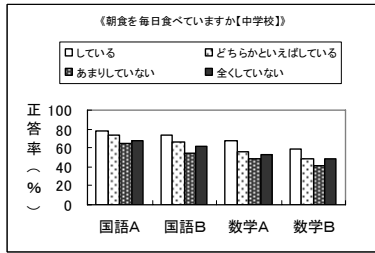
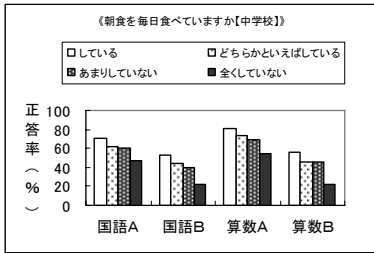
- 具体的な図形の特徴を的確にとらえること
- 具体的な場面から計算で求めること
- 確率を求めること
- ▲事柄が一般的に成り立つ理由を説明すること
- ▲問題解決の方法を数学的に説明すること
- ▲三角形の合同を利用し証明すること

☆次のポイントで、数学の指導を工夫改善していきます

- ・方程式を立てるために着目する数量を見出させる指導
- ・一般的な説明を、見通しを持って記述させる指導
- ・帰納的な方法の説明と演繹的な推論による証明の違いを理解し、証明を定着させる指導
- ・図形の性質を理解し、数学的な表現を用いて説明させる指導
- ・反比例の関係（表・式・グラフ）を理解させる指導
- ・二元一次方程式の解の集合とグラフの関係について理解させる指導

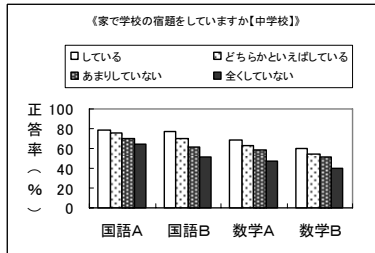
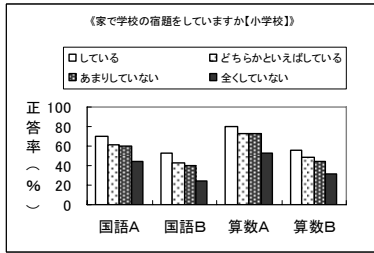


学習状況・生活状況



◆基本的な生活習慣が身につけている児童・生徒のほうが、正答率が高い傾向があります

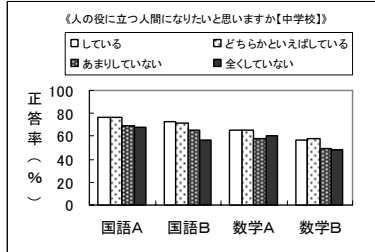
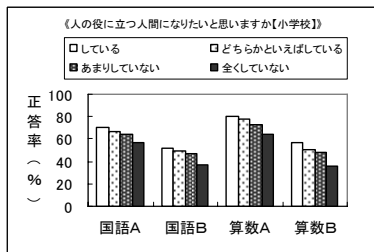
- ・「朝食を毎日食べている」
- ・「学校に行く前に持ち物を確認する」
- ・「毎日同じ時間に寝ている」など



◆家庭での学習の習慣が身につけている児童・生徒ほど、正答率が高い傾向があります。

- ・「家で計画を立てて勉強している」
- ・「家で学校の宿題をしている」
- ・「家で授業の復習をしている」

など



◆規律正しい児童・生徒や、人への良好な関係を築くことを意識している児童・生徒ほど、正答率が高い傾向があります。

- ・「学校のきまり（規則）を守っている」
- ・「人の気持ちの分かる人に、人の役に立つ人間になりたい」など

《 Attention ! 》

「1日あたり2時間以上テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりする」、「1日あたり2時間以上テレビゲームをする」と答えた児童・生徒は、全国を上回っています。

「1日あたり2時間以上テレビやビデオ・DVD」 → 児童：73.5% 生徒：71.0%

「1日あたり2時間以上テレビゲーム」 → 児童：25.2% 生徒：23.5%

各家庭できまりをつくって守るなど、家庭での生活のリズムが崩れないようにすることも大事ではないでしょうか。

保護者のみなさまへ



全国学力・学習状況調査結果から、高砂市の子どもたちには、漢字の読み書き、正・負の数の計算、具体的なことがらを計算で求めることなど、主に「知識」に関することは概ね定着しています。一方で、考えや考え方を整理してまとめたり、それを記述したり説明したりするなど、主に「活用」に関することには課題があります。

また、基本的な生活習慣を身につけていることや、家庭での学習、規律を守り良好な人間関係を築く態度が、学力向上に大きく影響していることも、改めて明らかになりました。中学生の方が、家庭での読書や自主的な学習の度合いが低くなっていることも課題となりました。

確かな学力の向上には、学校での学習指導の充実は重要ですが、家庭と学校が連携して、子どもたちにしっかりした生活習慣、学習習慣を身につけさせることも不可欠です。

今後とも、家庭と学校が連携を密にし、子どもたち一人一人の学力の向上を目指していきますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。